

電気系・高度ものづくり技能の追求と実践

～ウェブデザイン～

戸田 駿太

1. 目標

技能五輪全国大会ウェブデザイン職種で金賞を受賞する。

2. 技能五輪全国大会とは

23歳以下の青年技能者が各職種の技能を競う大会である。

3. ウェブデザイン職種とは

4つの課題が出題され、ウェブサイトおよびウェブアプリの設計、構築を行い、その適切さや表現力を競う。

ウェブデザイン職種の課題および競技時間

スピードテスト ①h
ウェブデザインに必要な技能・作業の速さを競う。各種の専門的な問題を時間内に完成させる。

フロントエンド ③h
ブラウザで動作するウェブアプリを作成する。JavaScriptのライブラリを用いてアプリの機能の実装を行う。

バックエンド ③h
PHP(フレームワーク)とデータベースを使用して、バックエンド部分(管理画面とRESTful API)の構築を行う。

CMS ③h
WordPressを用いて、管理者や編集者が内容等を容易に更新可能なウェブサイトの制作を行う。

4. ウェブサイト制作企業への支援依頼

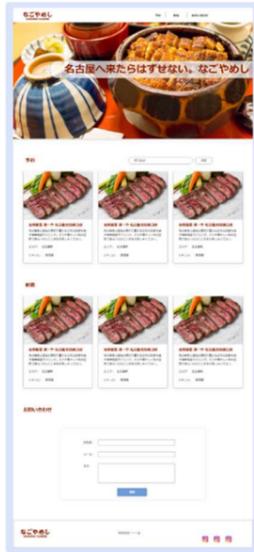
自己学習に使用していたWordPressの専門書の著者が所属しているウェブサイト制作会社のGrowGroup株式会社に支援依頼を行った。その結果、毎週水曜日に90分のオンライン講習を実施して頂けることになった。



5. WordPress の習得

WordPressを習得するため、毎週水曜日の講習に加え、CMSの模擬課題を用いた練習を行った。

模擬課題では、観光名所のPRや名古屋の飲食店紹介のウェブサイトを作成した。観光名所および飲食店の場所や飲食店の商品の登録、更新ができる機能を実装した。また、苦手であったデザイン力を向上させるために、配色やレイアウトを意識して練習した。



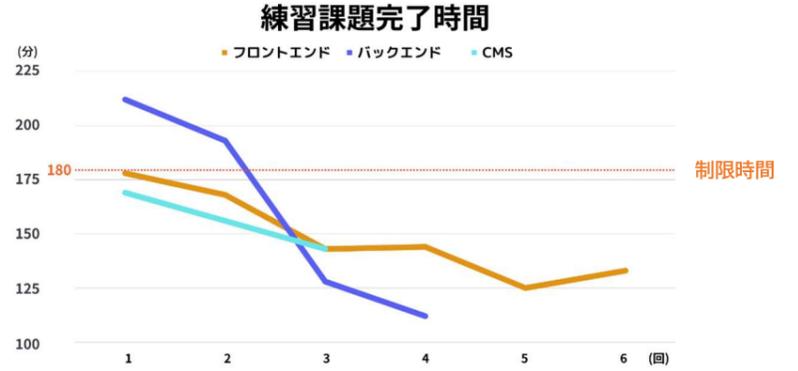
6. React Laravel の習得

Reactは公式ドキュメントを参考に、コンポーネントの構築、コンポーネント間でのデータの受け渡しの方法を席替えアプリの制作を通じて習得した。

Laravelは、データベースとの連携やAPIの作成方法をオンラインBINGOアプリの制作を通じて習得し、前回大会の課題を使用して練習した。

7. 事前公表課題による反復練習

事前に公表された課題を使用し、本番を想定した反復練習を行った。各課題の練習回数と完了時間を記録した(下図)。



毎回それぞれの課題におけるプログラムの理解度とデバッグの効率を上げ、前回の問題点の復習を行うことで、制限時間内に課題を完成されるようになった。

8. 大会結果

スピードテストやフロントエンド、バックエンドは練習通りの出来栄であった。しかし、CMSは記事の一覧ページが完成できなかった。少しの不安を抱きながら表彰式に臨んだが、無事に金賞を受賞できた。

実際に本番で作成した課題

フロントエンド(タスク管理アプリ)



CMS(ハンドメイドイベントのウェブサイト)



バックエンド(飲食店のメニュー管理アプリ)



9. 考察、感想

各課題の出来栄を100点満点で自己採点した(下図)。CMSの一覧ページの制作方法は、要求仕様の変更により練習時とは異なる方法で製作が必要だった。そのため、完成度を高めるために、より深いWordPressの対策と広い知識の習得が必要と考える。次回の大会では、国際大会の選考が行われるため、次回も金賞を受賞し、技能五輪国際大会を目指したい。

競技結果の自己採点

スピードテスト ①h 時間がかかる問題を飛ばしたことで効率よく取り組めた。 100点	フロントエンド ③h 1つのエラー以外は完璧に完了できた。 98点
バックエンド ③h 課題の仕様通りにすべて完了した。 100点	CMS ③h 機能面で未完成部分があったが、デザインは自信がある。 80点